



学校評価アンケート(保護者)について

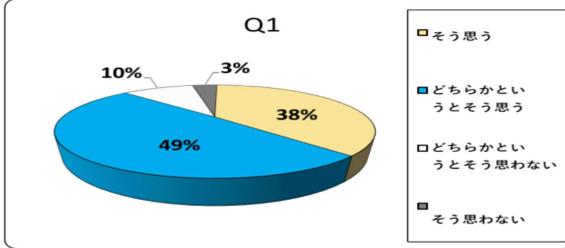
緊急事態宣言が延長され、まだまだコロナウイルス感染予防をしながらの学校生活ですが、子ども達は元気に登校しています。3月18日(木)は卒業式、3月24日(水)は修了式です。あと少しですが、1年間のまとめをしっかりと行っていききたいと思います。

さて、今回は12月に行った「学校評価アンケート(保護者)」の集計結果(抜粋)についてお知らせし、今年度の学校経営を振り返っていききたいと思います。

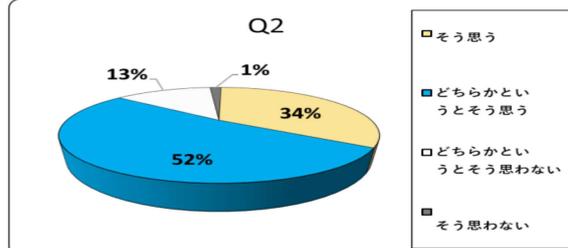
アンケートの質問項目は昨年度とほとんど変わりませんが、新たに「特別支援教育の充実」を追加しました。

校長 増田 賢一

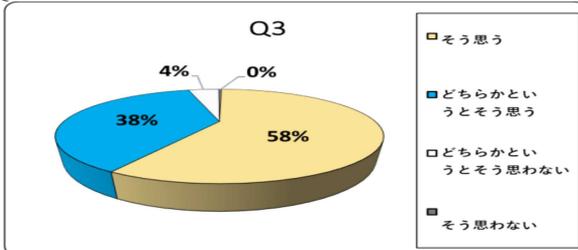
Q1.教育方針や教育目標の認知度



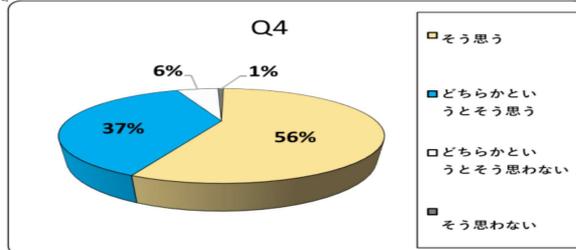
Q2.教育方針や目指す子どもの姿の説明



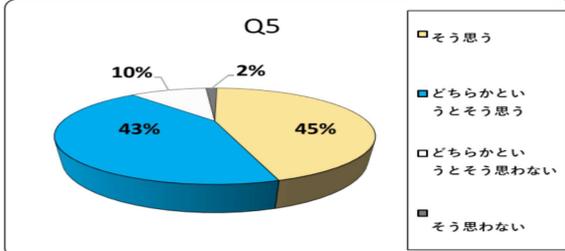
Q3.開かれた学校づくり



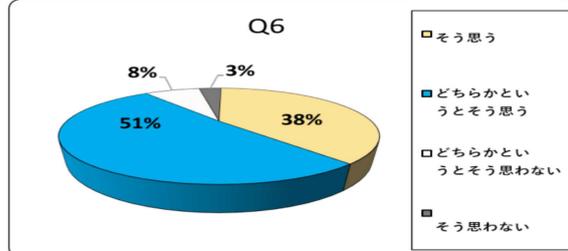
Q4.先生方の全力でのがんばり



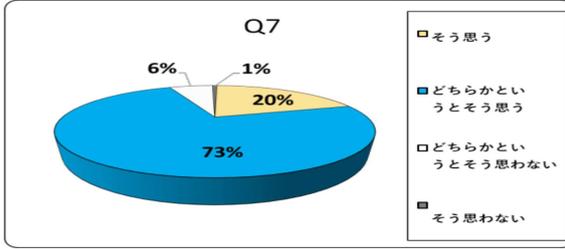
Q5.文書や便り、ホームページの閲覧



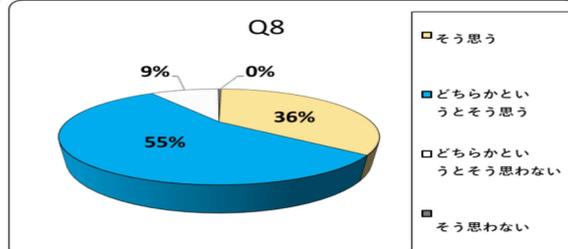
Q6.授業の分かりやすさ



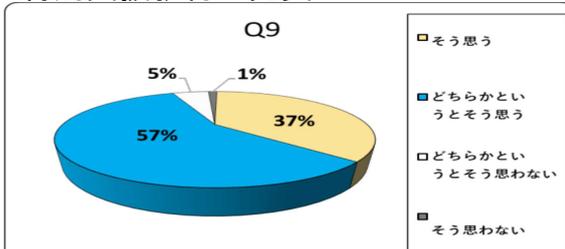
Q7.積極的な体力づくり・健康づくり



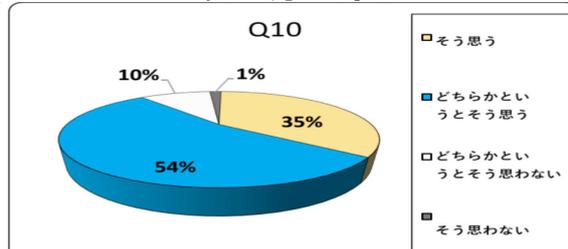
Q8.豊かな人間性を育む心の教育



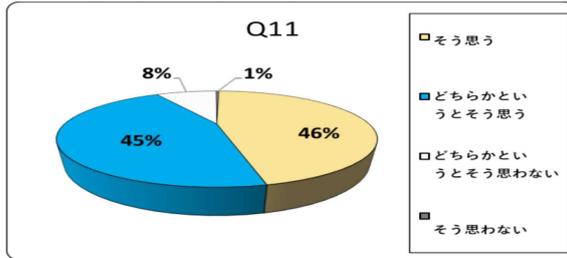
Q9.特別支援教育の充実



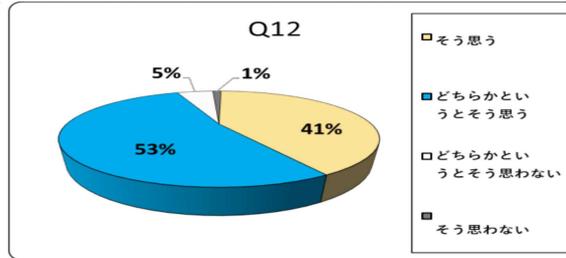
Q10.いじめへの先生方の対応



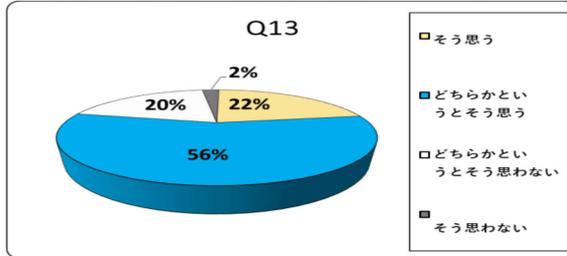
Q11.迅速な先生方の対応



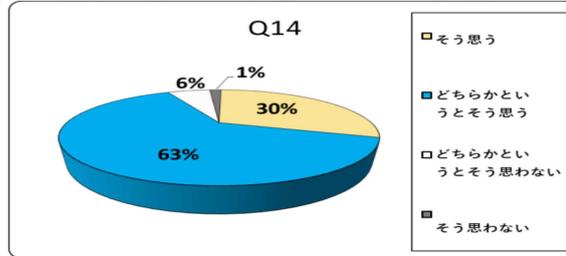
Q12.事故防止などの安全教育



Q13.学校の施設・設備が整っている



Q14.外部人材や地域を生かした教育



Q1, 2「教育目標やめざす子どもの姿の認知度や説明」について、肯定的な回答は昨年度とあまり変わっていませんでした。Q3「開かれた学校づくり」の項目も肯定的な「そう思う」の回答は5%程度減りましたが、「どちらかというとうとそう思う」まで含めると、96%が肯定的な回答でした。これは、Q5「文書や便り、ホームページをよく見ていますか」の項目で、「そう思う」が昨年度より少し増えていることなどを含めて考えると、授業参観はほとんどできないなど制限がある中でも、いろいろな形で学校の公開や保護者会を開いたこと、積極的に学校だよりやホームページで、学校の方針や児童の様子を伝えてきたことなどが理由と考えます。今後も、様々な方法で学校や子ども達の様子を伝えていきたいと思ひます。

Q6「授業のわかりやすさ」の「そう思う」が昨年度より少し増えました。臨時休業等がありましたが、指導方法の工夫をして取り組んできた成果と思われまひます。しかし、11%の方が否定的な回答であることは真摯に受け止め、これまで以上に、子ども達「わかった」「できた」という達成感・成就感を味わえるよう取り組んでいきたいと思ひまひます。

Q7「積極的な体力づくり・健康づくり」は「そう思う」がかなり減りました。運動機会が制限されたことが理由の一つと思われまひます。今後、制限がある中でもできる体力づくり・健康づくりに工夫して取り組んでいきたいと思ひまひます。

Q9「特別支援教育の充実」は新しい項目で、94%の方が肯定的な回答でした。パラスポーツ選手の講演会やゴールボール体験などを企画したり、学校だより等で学校の特別支援教育について伝えてきたりしたためと考えまひます。特別支援教育は、すべての子に対し、「一人一人を大切にする教育」であります。今後もすべての子ども達の良さをみつけ、一人一人の可能性を伸ばしていくことに力を入れていきたいと思ひまひます。

Q10「いじめへの先生方の対応」では、11%が否定的な回答でした。「いじめ」と思われる行動は、登下校時や放課後、休日、またSNS等校外のものが多くなっています。職員と家庭、地域との連携がより重要になってきます。これまで以上にアンテナを高くし、情報が入ったら、全職員で迅速に対応できるようにしていきたいと思ひまひます。「いじめは絶対に許されない」という強い気持ちを職員だけでなく、子ども達ももてるよう取り組んでいきたいと思ひまひます。

Q14「外部人材や地域を生かした教育」では、もう少し否定的な回答が多いと予想していましたが、93%が肯定的な回答で、昨年度とあまり変わりまひませんでした。少ない機会ではありますが、「お話の花束(読み聞かせ)」、「社会福祉協議会」「木下まち育て塾」等の方々に協力していただいたり、「まち探検」では地域の方が快く協力していただいたり、地域との関わりを続けていったことが評価されていると考えまひます。今後も「地域の学校」であるということをも再認識し、保護者や地域の方々と協力して活動に取り組んでまいります。

今回の学校評価アンケート全体を見ると、学校参観の機会が減る中、学校の施設・設備以外の項目は、80%以上が肯定的な回答をいただきました。

木下小学校はこれからも「子どもが誇れる学校」「保護者から感謝される学校」「地域から愛される学校」を目指して職員一同、努力してまいりたいと思ひまひます。

アンケートのご協力ありがとうございました。